

項 目	性 能 等
1. 早期離床サポート機能付きベッド	・一般医療機器として医療機器承認を得たベッド4台を有すること。 ・背上げ/膝上げ/足先下げ/ハイロー・トレンデレンバーク及びリバーストレンデレンバーク/ボード位置の調整が単独で操作することが可能であること。 ・背上げと膝上げは連動してタッチパネルにより操作が可能であること。 ・背上げと膝上げ/膝下げの連動はギャッチ動作における体のずれや腹部圧迫を軽減するために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に測定し制御することであらかじめ設定したパターンにて動作を行う機能を有すること。ただし、膝ボトムが背上げ後の端座位への移行の妨げとならないよう、背ボトム角度が75度に達した時に、膝ボトム角度が0度となるよう制御を行う機能を有すること。 ・1ボタンでベッド上での座位姿勢や端座位をとりやすいポジションに動作させることが可能であること。 ・ベッド上の患者の体重を計測し表示する機能と、体重変化量をモニタリングする機能を有すること。また日本国内の計量法に基づく検定合格品であること。 ・トータルロック双輪キャスターとし車輪は径125mm以上であること。ロックの切り替えペダルにより4輪同時固定（首振り/回転）、4輪自在、直進の切り替えが可能であること。 ・ギャッチ操作時の患者の圧迫を防ぐため、背と膝の両ボトム間の角度が常に90°以上の角度を確保できる制御を行う機能を有すること。
2. 病棟用ベッド（スケール有り）	・一般医療機器として医療機器承認を得たベッド2台を有すること。 ・ベッド専用のマットレス2枚を有すること。 ・ベッド操作は、患者用操作スイッチもしくは医療従事者用操作スイッチにより作動が可能であること。 ・頭側にはボトム取付型、足側にはメインフレーム取付型のサイドレールを有すること。 ・エアマットレスやフットポンプなどのベッド周りの機器へ電源供給可能な補助コンセントをベッドの足側左右に2口ずつ有すること。 ・夜間の安全性に配慮し、ベッドの左右に脚下灯を有すること。 ・電源が無い時や停電した時等にも、背ボトムのCPRレバーを操作することにより背ボトムを下げる事が可能であること。 ・USB機器を充電できるよう、頭側のサイドレール右側の患者用操作スイッチにUSBコネクタを有すること。 ・背ボトムに4ヶ所、膝ボトムに2ヶ所、足ボトムに4ヶ所、抑制帯を取付けることが可能であること。 ・メインフレームの両側面に、端座位からの離床時に患者の前方方向の支持物となる離床グリップ受を2ヶ所（片側1ヶ所）有すること。 ・患者の離床情報、端座位情報、起床情報および見守り情報を伝達するために、頭側にナースコールへ接続するためのコンセントを有すること。 ・ベッド内側から不用意に操作レバーを操作されないようにするため、ストッパーが各操作レバー部に取付けられていること。 ・ベッドが最低床高になっているかどうかを一目で確認できるようランプを点灯させる機能を有すること。 ・トータルロック単輪キャスターとし車輪は径125mm以上であること。ロックの切り替えペダルにより4輪同時固定（首振り/回転）、4輪自在切り替えが可能であること。 ・ベッド上の患者の体重を計測し表示する機能、前回の測定値を参照することが可能な機能を有すること。また日本国内の計量法に基づく検定合格品であること。 ・布団などの患者以外のものを載せたり降ろしたりしても体重測定値に影響がないよう、物品重量分を補正する機能を有すること。 ・停電したり誤って電源プラグが抜けたりしても、電源が復帰すると直前の状態

	に復帰するデータバックアップ機能を有すること。 ・メインフレームの両側面に2ヶ所（片側1ヶ所）排液バッグをかけられるホルダーを有すること。このホルダーは体重測定作業を効率化するためデジタルスケールによる計量の対象外となる構造を有すること。 ・ベッド搬送時の直進性、旋回性を高めるセンターホイールシステムを有し、切換ペダルにより直進固定/自在の切換えができる機構を有すること。
3. 病棟用ベッド（スケール無し）	・一般医療機器として医療機器承認を得たベッド10台を有すること。 ・ベッド操作は、患者用操作スイッチもしくは医療従事者用操作スイッチにより作動が可能であること。 ・頭側にはボトム取付型、足側にはメインフレーム取付型のサイドレールを有すること。 ・エアマットレスやフットポンプなどのベッド周りの機器へ電源供給可能な補助コンセントをベッドの足側左右に2口ずつ有すること。 ・夜間の安全性に配慮し、ベッドの左右に脚下灯を有すること。 ・電源が無い時や停電した時等にも、背ボトムのCPRレバーを操作することにより背ボトムを下げる事が可能であること。 ・USB機器を充電できるよう、頭側のサイドレール右側の患者用操作スイッチにUSBコネクタを有すること。 ・背ボトムに4ヶ所、膝ボトムに2ヶ所、足ボトムに4ヶ所、抑制帯を取付けることが可能であること。 ・メインフレームの両側面に、端座位からの離床時に患者の前方方向の支持物となる離床グリップ受を2ヶ所（片側1ヶ所）有すること。 ・患者の離床情報、端座位情報、起床情報および見守り情報を伝達するために、頭側にナースコールへ接続するためのコンセントを有すること。 ・ベッド内側から不用意に操作レバーを操作されないようにするため、ストッパーが各操作レバー部に取付けられていること。 ・ベッドが最低床高になっているかどうかを一目で確認できるようランプを点灯させる機能を有すること。 ・トータルロック単輪キャスターとし車輪は径125mm以上であること。ロックの切り替えペダルにより4輪同時固定（首振り/回転）、4輪自在切り替えが可能であること。
4. その他	・搬入、設置等費用を含めること。 ※同等品可